

平成25年度事業報告及び附属明細書

1 法人の概況

(1) 設立年月日

平成23年3月4日

(2) 定款に定める目的

この法人は、平成22年4月以降において宮崎県内で発生が確認された口蹄疫（以下「平成22年口蹄疫」という。）により重大な影響を受けた県内経済及び県民生活の早期の復興及び再建を図ることを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容

- ① 県内市町村における平成22年口蹄疫からの復興の取組を支援する事業
- ② 平成22年口蹄疫に起因する県、県産品等のイメージダウンを回復するために行う観光振興事業
- ③ 平成22年口蹄疫に伴い影響を受けた商工業の回復を図るために行う事業
- ④ 平成22年口蹄疫に伴い影響を受けた畜産業の六次産業化、農商工等連携を推進する事業
- ⑤ 家畜防疫体制の強化に関する事業
- ⑥ 前各号に掲げるもののほか、平成22年口蹄疫からの復興対策のために必要な事業

(4) 主たる事務所

宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号

(5) 役員等に関する状況

7ページのとおり

(6) 職員に関する状況

- ・ 事務局長 1名 宮崎県農政水産部畜産新生推進局長
- ・ 事務局次長 1名 同 畜産振興課長
- ・ 事務局員
 - 派遣職員 1名
 - 嘱託職員 1名

2 事業の状況

(1) 事業の概要

- ①事業団体数 47団体
- ②事業件数 52件
- ③助成等金額 626,616,133円

(助成事業の内容)

1) 畜産新生分野 133,293,020円 (6団体、6件)

- ① 生産性向上等支援事業
生産性向上を図るための機器導入の実証、経営分析等システムの構築等
- ② 販路拡大プロモーション事業
全共日本一2連覇を活かした販路拡大プロモーション等を重点的に行う取組
- ③ 地域防疫等支援事業
防疫水準の向上、初動防疫体制強化等の地域防疫の充実に資する市町村等の取組
- ④ 防疫・畜産振興研究等支援事業
科学的な知見に基づく家畜防疫や畜産振興等に資する研究や研修・教育事業

2) フードビジネス振興分野 187,330,185円 (12団体、12件)

- ① フードビジネスプラットホーム構築
 - ア マーケットイン強化事業
マーケットインのためのマーケティング、加工機械等の設備導入、産業人材育成等の取組
 - イ 6次産業化総合支援事業
農業者等が行う農畜水産物の販路拡大等の流通基盤づくりや施設整備等の取組
- ② 生産・供給体制づくり
 - ア 農業基盤づくり事業
新生産技術の実証等
 - イ 農業設備整備事業
低コスト生産や需要に応じた安定供給を図る収量向上に資する設備整備の導入等

3) 中小企業振興分野 90,490,000円 (8団体、8件)

- ① 成長産業基盤支援事業
中小企業者等のマーケティング等の取組、商業者等の特色ある取組
- ② アンテナショップ・出展等支援事業
都市部でのアンテナショップの開設、県外・海外等の展示会への出展や商談会の開催等
- ③ 金融対策支援事業
中小企業の創業・事業拡大などの設備資金等の利子補給又は信用保証料補助

4) 誘客対策分野

98,044,866円（1団体、6件）

- ① スポーツランドステップアップ事業
スポーツランドのブランド力強化や合宿受入基盤整備等の取組
- ② コンベンション等支援事業
コンベンション開催支援や地域の誘客の取組
- ③ 修学旅行・記紀編さん1300年等推進事業
教育旅行増加対策、神話巡りツアー、ホテル旅館組合等や農家民泊の「食」の取組
- ④ 海外観光誘客強化事業
国際定期便を活用した韓国・台湾等からの誘客の取組

5) 地域振興分野

108,238,000円（15団体、15件）

- ① 西都・児湯広域復興支援
西都・児湯地域の市町村の広域的な統一コンセプトに基づく拠点整備等の象徴的な取組
- ② 西都・児湯広域連携支援
西都・児湯地域の団体が広域的に実施する交流人口の拡大を図る取組
- ③ 活力ある地域づくり支援
西都・児湯地域以外の市町村が地域の活力を引き出すために実施する特徴ある取組

6) その他

9,220,062円（5団体、5件）

- ① 連携・協働復興支援事業
NPO法人等による住民の「こころと身体のケア」等の取組
- ② 復興メモリアル支援事業
口蹄疫からの復興等のメモリアルに資する事業
- ③ 財団実施事業
口蹄疫に関する意識を風化させないための情報発信等

○詳細は別添資料2のとおり

(2) 評議員会及び理事会の開催状況

① 評議員会

ア 評議員選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成25年5月17日（決議日）
- イ) 内 容：評議員の選任について

イ 平成25年度定時評議員会

- ア) 日 時：平成25年6月6日（木）
- イ) 場 所：宮崎観光ホテル 初雁の間（東館2階）
- ウ) 内 容：平成24年度事業報告及び決算について
平成25年度事業の概要について 等

ウ 理事及び監事選任に係る書面決議

- ア) 日 時：平成26年3月31日（決議日）
- イ) 内 容：理事及び監事の選任について

② 理事会

ア 理事長選定に係る書面決議

- ア) 日 時：平成25年4月1日（決議日）
- イ) 内 容：理事長の選定について

イ 常務理事選定に係る書面決議

- ア) 日 時：平成25年4月1日（決議日）
- イ) 内 容：常務理事の選定について

ウ 平成25年度第1回通常理事会

- ア) 日 時：平成25年5月28日（火）
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成24年度事業報告及び決算について
平成25年度事業の概要について 等

エ 理事長選定に係る書面決議

- ア) 日 時：平成25年6月6日（決議日）
- イ) 内 容：理事長の選定について

オ 平成25年度第2回通常理事会

- ア) 日 時：平成26年2月18日（火）
- イ) 場 所：宮崎県庁本館3階特別室
- ウ) 内 容：平成25年度事業の実施状況について
平成26年度事業計画について
平成26年度収支予算について 等

平成25年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) 生産性向上等 支援	公益社団法人 宮崎県畜産協 会	生産性向上等支援事業	①畜産新生モデル実証 生産性向上促進機器を導入した技術実証 ②新たな経営モデルの実証 超早期離乳実証 ③畜産新生モニタリング強化システムの構築 技術・経営分析システムの構築	46,624	①畜産新生モデル実証 機器整備：7農家で実証 ②新たな経営モデルの実証 1農家で実証実施 ③畜産新生モニタリング強化システム システム構築発注 【継続】	・生産性向上に係る技術実証による他の農家への波及が見込まれる ・技術・経営分析の随時提供により、生産やコストの課題等の改善による畜産農家の経営安定を図る
			・繁殖用雌牛の自家保留を促進 ・管内肥育農家の増頭促進と肥育データの収集体制の構築を図るため、肥育農家の管内保留を促進 ・乳用牛の増頭、需要期の生乳生産確保を目的に、優良乳用雌牛の導入を促進す	6,623	西都・児湯地域における ・優良雌牛導入支援 ・肥育農家導入支援 ・乳用雌牛導入支援	当該事業の導入計画に対し、飼養頭数を達成 ・優良雌牛導入支援 455頭 ・肥育農家導入支援 240頭 ・乳用雌牛導入支援 150頭
計	計	2団体 2件		53,247		
(2) 販路拡大プロ モーション	宮崎牛及び 県産食肉販売 戦略会議	県産食肉の販路力強化・消費拡大 対策事業	①TV、広告看板等によるPR ②フェア開催、ネット販売強化、販売促進資材の提供、市場調査 ③県外での宮崎牛常設販売所に向けたテラストマーケティング 百貨店等でのフェア開催等 ④県内外のイベント等における試食PR	21,623	①TV、広告看板等によるPR (関東、関西、北部九州) ②フェア開催、ネット販売強化、販売促進資材の提供、市場調査 (関東、関西、北部九州) ③県外での宮崎牛常設販売所に向けたテラストマーケティング、百貨店等でのフェア開催等 ④県内外のイベント等における試食PR (関東、関西、北部九州)	・県外への積極的なPR活動やフェア開催等により、取引先との関係強化や新たな販路開拓への期待が増大 ・引き続き積極的なプロモーション活動を展開し、さらなる販路・消費拡大を図る
			県産食肉を活用した産地加工商品の新規開発や付帯機器導入支援 ・産地加工商品の新規開発に要する付帯機器の導入支援	8,746	・産地加工商品の新規開発支援：2者 ・産地加工商品の新規開発に要する付帯機器導入支援 ：2者 ：「県産豚肉使用 ところん軟骨」 ：「豚ミルブアイニュー」ほか	・新商品開発の基盤整備と購買ニーズに対応した販売体制の構築が実現 ・県産食肉を使った新商品開発による食肉業者等の新たなビジネス展開と県産食肉の販路・消費拡大に期待される ・新規雇用4名、今後10名以上の雇用計画
計	計	2団体 2件		30,369		
(3) 地域防疫等支 援	公益社団法人 宮崎県畜産協 会	地域防疫等支援事業	市町村自衛防疫推進協議会等が実施する備蓄用防疫資材等の購入、倉庫や車両等消毒用施設整備など、地域防疫の充実に資する取組への助成	29,677	○家畜防疫情報システム 11の市町村自衛防疫推進協議会に助成 ○家畜防疫情報システム以外 (消毒巡回、消毒ゲートの導入、消毒ポイン্টの設置、各地域独自の助成 9の市町村自衛防疫推進協議会に助成 ○豚流行性下痢(PED)関連消毒ポイン্ট設置 6の市町村自衛防疫推進協議会等に助成	・地域独自の特色のある取組 ・高齢者等の農家に対しての農場巡回消毒の実施など、きめ細かな取組を実施 ・消毒ポイン্ট整備事業の効果 ・当該市町村に限らず広域的な効果も発揮
			計	1団体 1件	29,677	

平成25年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位:千円)

事業(メニュー)(区分)(分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
1 畜産新生分野	国立大学法人 宮崎大学	宮崎県の畜産業の新たな成長に向けた研究プロジェクト	<p>(主な研究内容)</p> <p>テーマ1:生産性の向上</p> <p>(1) 新たな高品質特性を有する和牛肉の生産</p> <p>(2) 安定した肉質、肉量、飼料効率、繁殖効率に優れた黒毛和種集団造成のための新たな選抜基準の検討・提案</p> <p>テーマ2:生産性のコスト削減</p> <p>(1) 良質自給粗飼料の永年生産体系の確立及び休耕地・休閑地における放牧利用の推進</p> <p>(2) 南九州に適する新規の暖地型イネ科牧草ルジグラスの育成と粗飼料生産体系の構築</p> <p>(3) 地域未利用資源の飼料化による粗飼料自給率の向上と食肉の安全かつ肉質向上を目指した取組</p> <p>テーマ3:防疫体制の強化</p> <p>(1) 養豚経営における安全・安心と生産性の向上を目的とした疫学データベースの構築</p> <p>(2) 重要家畜伝染病の危機管理と疾病コントロールによる畜産基盤の構築</p>	20,000	<p>(主要なもの)</p> <p>テーマ1</p> <p>(1) 新たな高品質特性を有する和牛肉の生産</p> <p>① 新たな高品質肉生産法として、地域特産物を用いた飼料を成分分析し、飼料給与状況から栄養レベルを検討</p> <p>(2) 黒毛和種集団造成のための新たな選抜基準の検討・提案</p> <p>① 経時的血液一般成分分析、経時的超音波測定の実施、検定終了調査牛の枝肉成績を収集</p> <p>② 脂肪織死症・シヨコリの発生機序の解明と予防対策</p> <p>テーマ2</p> <p>(1) 良質自給粗飼料の永年生産体系の確立及び休耕地・休閑地における放牧利用の推進</p> <p>① ネピアグラスの発性種、普通種と対照として、トウモロコシコンシメ及びバインガムを栽培、検討</p> <p>② 耕作放棄地に、発性ネピアグラスを移植し定着状況の調査</p> <p>(2) 暖地型イネ科牧草ルジグラスの育成と粗飼料生産体系の構築</p> <p>① 定植後、8月中旬に1番草を、10月下旬に2番草の形態的特性の調査を行い、ブラキアリア既存品種と比較</p> <p>(3) 地域未利用資源の飼料化による粗飼料自給率の向上と食肉の安全かつ肉質向上を目指した取組</p> <p>① “笹サイレージ”の機能分析</p> <p>② “笹サイレージ”の化学分析</p> <p>テーマ3</p> <p>(1) 養豚経営における安全・安心と生産性の向上を目的とした疫学データベースの構築</p> <p>① 養豚現場のニーズ分析(生産記録の重要性の啓蒙)</p> <p>(2) 重要家畜伝染病の危機管理と疾病コントロールによる畜産基盤の構築</p> <p>① 口蹄疫流行シミュレーションモデル作成</p> <p>② 第3回宮崎大学国際シンポジウム「国家・地域防疫戦略・口蹄疫拡大シミュレーションの活用」(宮崎市H25.7.19)及び韓国獣医学術協会獣医学会において、成果を公表</p>	<p>(主要なもの)</p> <p>テーマ1</p> <p>(1) 新たな高品質特性を有する和牛肉の生産</p> <p>① 新たな高品質肉生産法として、地域特産物を用いた飼料を成分分析し、飼料給与状況から栄養レベルを検討</p> <p>(2) 黒毛和種集団造成のための新たな選抜基準の検討・提案</p> <p>① 経時的血液一般成分分析、枝肉成績を収集</p> <p>② 脂肪織死症の発生機序と成長ホルモンの遺伝子型との関連性を解析、今後は予防における適切な栄養度の維持の重要性について、農家の啓蒙に努める</p> <p>テーマ2</p> <p>(1) 良質自給粗飼料の永年生産体系の確立及び休耕地・休閑地における放牧利用の推進</p> <p>① ネピアグラスの発性種等を栽培、それらの飼料作物の定着状況と雑草防除効果について、収量調査</p> <p>② 発性ネピアグラスを移植し定着状況を調査</p> <p>植生管理に関しては、南九州で有望なネピアグラスの発性ネピアグラスは、埋却地の植生管理に優れた有用性を示し、永年性の観点から、埋却地での利用が最も望ましいものと推測された</p> <p>(2) 暖地型イネ科牧草ルジグラスの育成と粗飼料生産体系の構築</p> <p>① 4月体ルジグラス後代は、1番草および2番草ともに茎が太く、葉幅および草丈の値が高くなる傾向が認められた</p> <p>(3) 地域未利用資源の飼料化による粗飼料自給率の向上と食肉の安全かつ肉質向上を目指した取組</p> <p>① 抗腫スベクトルの分析の結果、指標菌として用いる3菌種に対して強い抗菌活性を示した。一方、カンピロバクター、大腸菌等に対する抗菌活性は認められなかった</p> <p>② 笹サイレージは開封後1ヵ月間は不皿面にかび等の発生は認められず、発行品質はほとんど変化しなかった</p> <p>テーマ3</p> <p>(1) 養豚経営における安全・安心と生産性の向上を目的とした疫学データベースの構築</p> <p>① 養豚現場のニーズ分析(生産記録の重要性の啓蒙)</p> <p>(2) 重要家畜伝染病の危機管理と疾病コントロールによる畜産基盤の構築</p> <p>① 口蹄疫流行シミュレーションモデル作成</p> <p>② 第3回宮崎大学国際シンポジウム「国家・地域防疫戦略・口蹄疫拡大シミュレーションの活用」(宮崎市H25.7.19)及び韓国獣医学術協会獣医学会において、成果を公表</p>
		計	1団体	1件	20,000	
合計(1 畜産新生分野)			6団体	6件	133,293	

平成25年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) フードビジネスプラットフォーム構築						
マーケティング強化	公益財団法人 宮崎県農業振 興機構	「みやざきイチオシ! 美味しいも のづくり道場」モデル構築事業 の開催	有名シェフ等キーパーソンと商品開発企業とのマッチン グ、生産者・加工業者を対象にした商品開発道場の実施 ・マーケティングによる販路開拓支援、プレゼンテーショ ンの開催	6,885	・高橋町産酒米(はななかぐら)と老舗酒蔵「一流料理人の 有機的造り」により新商品「穂倉千徳」の開発 ・食品事業者を対象に、海外(台湾)に向けた商品開発、 販路等の勉強会、求評会を実施 ・県内農産物を使った商品開発や県外販路拡大に向けた支 援	・新商品(日本酒)の開発を行い、12月末に商品が完成 ・東京の有名料理人、料理店にへべスの青果物、加工品を 提供し、モニタリング、商品開発を依頼 ・県内農産物加工品(パプリカ)について、商品のブラン ディングに着手した ・台湾向けの勉強会、求評会を、現地の専門家を迎え実施 (セミナー150名、求評会20社参加)
	宮崎県中小企 業団体中央会	県内農産物産業振興事業	県内農産物の付加価値を高める商品開発、販路開拓等へ の取組を助成	27,349	・ソフト事業: 8社、ハード事業: 11社に助成 ・商品開発 (マングローブ入りロールケーキ、丸ごとキンカン飴 など)	・県内農産物の付加価値を高め、販路開拓等へ の取組を助成 ・ソフト事業: 8社、ハード事業: 11社に助成 ・商品開発 (マングローブ入りロールケーキ、丸ごとキンカン飴 など)
	一般社団法人 宮崎県農工会 連合会	みやざきのフードビジネスを支援 するインターネットビジネス普及促 進事業	インターネットビジネス(インターネットショップ)への取組を強化 1 人材育成 2 ネットショップ構築モデルでの宮崎フェアの開催	3,342	○セミナー開催(11/7) ○講習会開催(4回: 11/28, 11/29, 12/19, 1/20) ○WEB特設展示会「美味しい米のみやざきフェア」開催 平成26年2月28日～3月31日 出席者数: 26社	○セミナー参加者 62社71名 ○講習会参加者 11企業 ○参加企業間でのアドバイザーや、実際に相手企業を訪問等 の交流が行われている ○今後は、ネットビジネスへ参画する底辺社のため、普及 啓発を実施
	シェフサミツ ト実行委員会	みやざき食の魅力発信プロジェクト	宮崎スベシヤルデューの開催(東京) 宮崎産のテーマ素材をもとにした「宮崎スベシヤルデュー」 を開催するとともに、宮崎シェフズクラブメンバーの店舗で の宮崎の食材にこだわった宮崎フェアの開催	5,000	・宮崎フェア、宮崎食材プロモーション(試食会)の開催 平成26年2月～3月、県内で宮崎シェフズクラブの店舗 やホテル等で宮崎の食材にこだわった宮崎フェア、宮崎 食材プロモーション(試食会)を開催した	・宮崎シェフズクラブとの連携強化が図られた ・求評会への参加シェフ等による県産食材の講師と旨っ でのマーケティングの把握
	公益財団法人 宮崎県農業振 興公社	みやざきフードビジネス推進事業	フードビジネス推進大会の開催 1 フェア設置、6次産業化及びフードビジネスのモデル事例紹 介等 2 フードビジネスに関する各種取組の一体的な開催・P R	1,650	フードビジネス推進大会の開催(宮崎市: 2月3日) ○フードビジネス(6次産業化)実践事例紹介等のブース 設置 ○フードビジネスに関する各種取組の一体的な開催・P R	・フードビジネスに取り組み機運の醸成が図られた ○フードビジネス推進大会参加者数 (集計中) ○フードビジネス関係関係者数の拡大 (集計中) ○食料品製造業等出荷額の拡大 (集計中)
	小計	5団体 5件		44,226		
6次産業 化総合支 援	公益財団法人 宮崎県農業振 興公社	みやざき6次産業化総合支援事業	・農業者等が行う新商品開発、販路開拓等に要する経費の 支援 ・農産団体等が行う6次産業化推進に係る研修会開催経費 の支援 ・農産物の生産・加工・販売等に必要な設備の整備に係 る経費の支援	23,851	1 6次産業化トリアリアルサポート事業(ソフト事業) (1) 新商品開発、販路開拓等 (柑橘を用いたコンポート、自然書加工品など) 事業実施主体 10件 (2) 推進会議や研修会開催等 事業実施主体 2市 ・都城市6次産業化推進大会(都城市) 参加者数: 650名 ・のべ参加者数: 300名 参加者数: 300名 6次産業化推進支援研修事業(ハード事業) 事業実施主体 7件 (椎茸加工製造器、米粉、米粉製粉加工製造器など)	・複数の事業実施主体では、新商品の開発、販売を開始 ・各商談会への参加や道の駅での直売、連携先への商品 提供 ・試験販売等を実施 ・大規模な研修会(県西・東北の2カ所)の実施により、 6次産業化に向けた機運醸成と、市町村段階での推進 体制の拡充が図られた
	宮崎キャピバ 事業協同組合	宮崎キャピバブランド創出事業	宮崎産キャピバの商品づくりに要する経費の助成 宮崎産キャピバの販路開拓・PR等に取り組み経費の助成	7,500	① 発売記念レセプション開催(東京11/10) 参加者100人(シェフ、マスコミ等) ② キャピバ販売600個(売上460万円) このうち、組合HPショップサイトで150個を販売 (抽選販売申込数810個)	① パッケージ、販促物、Web製作による宮崎キャピバ のブランドイメージの向上 ② 発売記念イベントの実施により効果的な宮崎キャピバ のブランドイメージアップ及び販売PRの実施 また、全国放送等のメディアが取り上げたことにより、 広くPRができた ③ 三越・伊勢丹、岩田屋など販売ルートの開拓
	小計	2団体 2件		31,351		
	計	7団体 7件		75,577		

平成25年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(2) 生産・供給体制づくり	宮崎県土地改良事業団体連合会	みやざき畑地かんがい営農基盤整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 地下かんがいシステム等の新技術を導入した生産基盤の整備に要する経費の助成 排水施設や給水栓の整備等に要する経費の支援 排水防除に必要な用水路の整備等に要する経費の支援 その他かんがい用水を有効的に利用するために必要な調査費の助成 	9,521	<ul style="list-style-type: none"> 地下かんがいシステム導入(児湯地区:A=2.2ha) 排水防除整備の実施(中部地区:A=0.2ha) 排水器具や茶の間断水制御施設の整備(児湯地区ほか3地区) 畜産用水利用調査の実施(児湯地区ほか1地区) 	<ul style="list-style-type: none"> 排水器具や茶の間断水制御施設の整備により、畑地かんがいの効果を発揮 本年度夏の高温小雨に対し、効果を十分発揮 畜産用水利用調査により、かんがい用水の有効利用について、具体的な検討に着手
	宮崎県農業再生協議会	省エネ設備等導入支援・耐候性ハウス導入支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 小型木質バイオオオマラス暖房機の開発支援 低コストのバイオオオマラス暖房機の開発支援 低コスト耐候性ハウス導入に伴う増産経費の一部を助成 	32,801	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ設備導入、暖房機開発の推進 省エネ設備等導入支援:3地区(中部地区、児湯地区2) バイオオオマラス暖房機開発支援:3社 耐候性ハウス開発支援:3集団(中部、東臼杵、西臼杵地区) 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ設備導入や低価格・低コスト暖房機の開発 強化型ハウス整備により、施設園芸農家の経営安定に繋がった
(2) 供給・生産体制づくり	宮崎県農業再生協議会	木質ペレット供給体制実証事業	木質ペレットの確保と供給体制の確立に対する取組を支援	5,850	<ul style="list-style-type: none"> 新たな木質ペレットの試用や中継施設を設けて検証中 施設園芸向け木質ペレット供給元(前年:県内1か所 250t) 	<ul style="list-style-type: none"> 供給体制を構築し、配送方法等を検証するとともに、新たな燃料供給元の確保ができ、供給量が増加した
	宮崎県農業再生協議会	土地利用型品目産地育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 茶たばこ廃作農地や埋却地等を活用した加工・業務用ニーズに対応した土地利用型品目導入のための高性能農業機械等の導入を支援 	25,786	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用型品目の産地育成、加工・業務用機械等の購入支援 支援団体:14事業主体 「かんしよ自主式収穫機」「千切り小袋加工機械」「ニンジン収穫機」等 	<ul style="list-style-type: none"> 市場から高いニーズのある加工・業務用など、土地利用型品目の面積拡大(受益面積189ha)が図られた 今後は、土地利用型品目の産地育成と加工・業務用など、新たな市場ニーズに対応が可能
合計(2) フードビジネス振興分野	宮崎県農業再生協議会	高品質・安定生産化及び高収益生産技術導入支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の安定生産及び生産拡大を図るために必要な施設整備費、高収益を実現する設備の導入を支援 	37,795	<ul style="list-style-type: none"> 高品質化、高収益に資する設備、生産技術の導入の推進 設備導入支援:29事業主体 「深冷育苗施設」「茶葉土耕システム」「車庫ハウス」「茶の被覆資材」等 	<ul style="list-style-type: none"> 高機能性フィルム等の導入、防虫ネットの導入等によるウイルス対策により防除作業の軽減や、炭疽菌発生期間ではまゆめうり施設に導入され、適正な環境制御による収量増加につながる成果が得られた また、茶の被覆資材導入や夜生育育苗施設、車庫ハウス導入などにより、高品質化や高収益化が期待される
	小計	4団体 4件	102,232	小計	111,753	187,330

平成25年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等	
3 中小企業振興分野	一般社団法人 宮崎県商工会 協賛連合会等 (商工会協研 等)	中心市街地プロジェク事業	中心市街地及び駅前周辺ビル屋上で養蜂を行い、採取されたハチミツ等を利用して商品開発	1,950	中心市街地の2か所に対し5箱の巣箱を設置 ・10月より商品販売開始 ・4回のイベントを実施	・125kgのハチミツを採取(無農薬検査済・糖度80度以上) ・696個瓶詰めし688個を販売 ・キッズオアフェレモノによる子どもをメインターゲットとしたことで、生物多様性や環境に対する意識の醸成に寄与した ・中心市街地の7店舗で独自メニューを開発販売中 ・今後は、人的ネットワークの構築、地域経済の活性化等に繋げる	
	一般社団法人 宮崎県商工会 協賛連合会等 (商工会協研 等)	中心市街地賑わい創出事業	大型店舗とともに、面的な大街市祭を開催する。また、各種情報媒体体を利用したPRを実施	5,143	・大街市祭を4月、7月、8月、10月、11月に実施	・通行量 通称期：3,000人前後、街市：5,000人前後、 10月の大街市(神宮大祭に併せ開催)：約14,000人 ・出店数 10月の大街市は、約70店舗に増加 (通常の街市は、約50店舗の出店) ・市内で開催されるイベントと連携したことで、滞在時間の延長等、多くの集客となった ・遠方からの来場者、出店者が増加 ・他団体からPRやキャンペーンの場としての申し出が増加	
	一般社団法人 宮崎県商工会 協賛連合会等 (商工会協研 等)	地産地消促進事業	地産地消や県民100万円消費運動を推進するため、消費者の購買意欲が高まる年末から年始にかけて、県産品や県内宿泊券等の県産品を抽選で贈呈する事業を実施	12,000	・地産地消及び100万円消費運動を推進するため、消費者の購買意欲が高まる年末から年始にかけて、買い物した額に応じたシールを配布し、県内産品等を景品として実施 ・年末と年始に抽選会を実施	・シール販売による販売額推定：約53億円 ・約900万円分の県内産品や宿泊券を発送 ・ほとんどの県産品を県産品としたことで、県産品への注目がより一層高まるきっかけとなった ・応募シールに地元の特産品やラッキーアイテムを起用し、子どもにも興味を持てる仕組みづくりを行ったことと、幅広い年代層の注目度を厚め、相乗効果を実現	
	宮崎県商工会 連合会 (中小企業者 等)	成長産業基盤支援事業	中小企業者等(三股町商工会会員) ・カレートのミニコンダクターやトッピングができる素材の新商品の開発、及び販路開拓に対する助成	1,000	・新商品「黒ゴマチーズ饅頭」など5アイテムを開発 ・県外の物産展に3回、県内イベントにも2回出展 ・宅卸事業のシステム構築し事業を開始	・新商品の開発による売上げ：昨年対比で3%増の見込み ・県外物産展での売上高：約87万円 ・県外物産展等での対面販売の実績により、消費者から好感度を高め、既存商品の販売も加えた相乗効果あり	
	宮崎県商工会 連合会 (中小企業者 等)	成長産業基盤支援事業	中小企業者等(北浦町商工会会員) ・和面旅館をオープンし、この旅館の特徴と差別化を図り北浦町のイメージアップと観光客の誘客に取り組む 助成	966	・10月中旬に落成し1階部分のレストランは営業開始 ・今後、人材育成等を実施	・総売上高で対前年比20%増の見込み ・仕入等のコストが抑えられ顧客獲得機会にも繋がり、利益率の向上が図られる	
	宮崎県商工会 連合会 (中小企業者 等)	成長産業基盤支援事業	中小企業者等(高千穂町商工会会員) ・「高千穂健康茶」の商談会等への出展やPR、販路開拓に対する助成	300	・ゴボウ茶、黒豆茶など13アイテムの商品化 ・ニッポン全国物産展(池袋サンシャイン)11/22~11/24)に出展 ・東京(2月)で開催されたスパーマーケットトレードショーへの出店	・スパーマーケット、百貨店など、51件で商談中	
	宮崎県商工会 連合会 (中小企業者 等)	成長産業基盤支援事業	中小企業者等(中郷商工会会員) ・インターネットによる販売増を目的としたHPの構築や顧客対策のための取組に対する助成	138	・顧客対策のための施設を整備 ・顧客拡大に繋げるため、ホームページを構築	・新商品開発：36種のペーパードリンク、5種のソフトクリーム ・10月末の閉店1周年ではアニバーサリーセールで200個の完売など、前年比170%の売上増 ・ホームページによるPRで新たな顧客の確保	
	計		4団体	4件	21,497		

平成25年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) スポーツランドステータップ	公益財団法人みやざき観光コンベンション協会	スポーツキャンプ・合宿やスポーツイベントなどに対する支援	10,138	プロ野球ファーム日本選手権への支援、ゴルフマンス(11月)歓迎装飾の実施 ○プロ野球ファーム・ゴルフ・トーナメント 5,593名 ○アクサレディーズ・ゴルフ・トーナメント 10,847名	大型スポーツイベントの開催等により、多くの県外客が訪れ、経済効果やスポーツブランドみやざきのPRに大きく寄与
(2) コンベンション等支援		コンベンションの本県での開催を積極的に支援する。市町村等が行うアフターコンベンションの環境整備に係る支援	17,004	【コンベンション開催支援状況】 ・助成件数…12件 ・延べ参加者数…18,254名 ・延べ宿泊者数…6,806名 【アフターコンベンション環境】 ・助成件数…7件 ・延べ参加者数…63,843名 ・延べ宿泊者数…3,647名	【事業効果額(H25年度見込み)】 アフターコンベンション開催支援 210,000千円 コンベンション開催支援 128,273千円 みやざきのMICE開催、アフターコンベンション環境の良さについて、実感いただき「コンベンション開催地としての宮崎」の知名度向上に寄与 ・ホテル、飲食店等各種業界への経済効果が図られた
(3) 修学旅行・記紀編さん1300年等推進		教育旅行推進事業	51,418	【本県の教育旅行受入状況】 H25年度見込み：約3,700名 (対前年度比約150%) ○九州観光推進機構や南九州各県等と連携した関西や首都圏等でのゼールズプロモーション活動等を実施 ○四国の旅行会社に対する大分県と連携したゼールズプロモーション活動の実施 ○四国の旅行会社の招へいツアーの実施	【事業効果額(H25年度見込み)】 40,000千円 ・関西・中国方面をはじめとする放浪会社や学校関係者の間で本県の教育旅行素材の認知度が向上した ・宮崎市のマリナー体験や北ざきしま田舎物館推進協議会をはじめとする農家民宿を中心に、新規予約や問い合わせが増加した。 ・ターゲットエリアやアポイント、課題の明確化に繋がった。
教育旅行推進事業		より一層のゼールズプロモーションや招聘活動を行い、教育旅行の誘致促進を図る。	(3,265)		
記紀編さん1300年事業		記紀にゆかりの深い宮崎の「神話」、「伝説」の魅力をPRする。	(29,454)	○神話巡りバスツアーやリメンバーク九州キャンペーン、オールみやざき大分観光キャラバンの実施など、神話をはじめとした宮崎の魅力を発信する事業を多数実施 ○四国の旅行会社に対する大分県と連携したゼールズプロモーション活動の実施	宮崎県の魅力を発信するための事業を多数実施したことにより、「観光地・宮崎」の知名度向上に寄与 (主な事業の実績) ○神話巡りバスツアー ・県北コース 48回催行、利用者数1,689人 ○リメンバーク九州キャンペーン ・宿泊者約1,000名。 ○オールみやざき大分観光キャラバン ・参加者…8市町等15団体35名 ・観光説明会招待者…12社16名
「食」の観光推進事業		日本一2連覇を達成した宮崎牛をはじめ、宮崎の「食」の魅力を県内外にPRする。	(18,699)	食の魅力を活用した事業を実施 ・県民100万泊や地産地消に資するキャンペーン ・宮崎牛のすき焼きを使ったキャンペーン ・農家民宿等における食の取組への支援など	観光資源の再発見や地産地消の啓蒙普及、宮崎牛の新たな食べ方の提案による宮崎牛の消費拡大及び観光誘客、農家民宿等における受入環境の整備など、観光面での「食」の魅力向上に繋がった (主な実績) ○100万泊キャンペーン 1,711通の応募(8～10月) ○「宮崎牛すきやき」キャンペーン 436人利用 ○農家民宿等における食の取組 実施団体：4団体
海外観光誘客強化		韓国・台湾から本県への誘客促進を図る。	19,485	韓国・台湾へのゼールズプロモーションやエージェント等の招聘、宿泊支援や広告支援などの事業を実施。	韓国・台湾の旅行会社から本県への送客等が促進されたことにより、県内ホテル旅館等での観光消費が増大し、本県経済の活性化が図られた。 【韓国事業】 ・エージェント等の招聘(70名) ・パワプロゴザールの招聘(200名) 【台湾事業】 ・ツアー一本数(73本) ・宿泊支援…地下鉄臨海路広告(10か所) ・広告支援…地下鉄中吊広告(6両車全面)
合計(4 誘客対策分野)		1 団体 6 件	98,045		

平成25年度宮崎県人口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
5 地域振興分野	高鍋町	花守山整備事業	高鍋大師周辺の植栽及び特田古墳群との一体的な整備(散策道、駐車場、ガソリンスタンドの整備) 事業期間：H23～H27	22,000	設計委託 ・障壁工 ・排水路 【繰越】	地元住民及び町内外の関係団体との連携を図りながら「高鍋大師」の保存と活用を推進することで、交流型観光地が実現
	新富町	しんとみスカイパーク構想事業	「スカイパーク」をコンセプトに、新田原基地を観光資源として活用するなど、町の振興、集客の核となる拠点を整備 事業期間：H23～H27	9,269	(1) 「空」の拠点整備 新田原基地隣接地に緑地広場を整備するため、実施設計 (2) 案内サイン等設置 構想の拠点区域をはじめとするとする観光資源について、案内板3基、解説板5期を設置 (3) 説明会開催 1 新富町スカイパーク構想推進町民懇話会を設置し、会議(6回)及び先遣地研修(1回)、モニタリングツアー(町外者を対象とするトレイルツアー1回)を実施	(1) 「空」の拠点整備 実施設計の成果を踏まえ、平成26～27年度中に国(防衛省)が施設整備に着手予定(事業予定地：約8,500㎡) (2) 案内サイン等設置 ・ 町の向上 ・ 各資源の自然的・歴史的価値に対する理解も促進が期待 (3) 構想開催 ・ 官民一体となった本構想の推進に対する意識付けと多様な観点から、本構想で取り組むテーマ等の取りまよめ及び具体的な整備内容等に関するイメージの共有化
	木城町	交流人口拡大戦略観光施設整備事業	スポーツ大会誘致等のための中八重緑地公園の施設整備、木城温泉館「湯らら」屋外施設整備、木城えほんの郷園路整備を実施 事業期間：H23～H25	29,191	・木城えほんの郷園路整備工事 ・木城温泉館「湯らら」屋外施設整備工事 【繰越】	中八重緑地公園利用人数 H23年度 12,798人 H24年度 15,672人 H25年度 23,433人 木城温泉館「湯らら」利用人数 H23年度 125,431人 H24年度 68,762人 (H24年度は改修工事のため11月から閉館) H25年度 143,322人 木城えほんの郷 H23年度 14,650人 H24年度 14,522人 H25年度 15,649人
		計	3 団体 3 件	60,460		
(2) 地域振興分野	さいとこゆ観光ネットワーク	さいとこゆ観光ネットワーク事業	フロント事業を活用して整備する拠点等を結びつける広域観光ルートの開発、観光パンフレットの作成、合同キャンペーン・イベントの実施等	7,500	・博覧会形式による旅の提案事業 パンフレット20,000部作成(関係機関等に配布) (後割分を1月下旬発行) ・西都児湯観光事業(11月17日開催) ・さいとこゆ食の大運動会(2月9日開催)	・西都児湯地域の「農産物・林業・水産物」など、地域の豊富な素材を活かした「食」と「観光」を連携させ、地域内的人的ネットワークの構築 ・西都児湯の交流人口の拡大及び疲弊した観光業が再生 ・博覧会形式による旅の提案事業 参加者数 223名 ・総合職参加者数 21,000人
		計	1 団体 1 件	7,500		

平成25年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
5 地域振興分野	都城市	「みやこんじよ名物肉井」創生事業	地域のみに、地元の人、肉、豚、鶏肉を使った「どんぶり」を企画提案してもらい、「肉井ブランド」に仕上げていくとともに、全国に向けて発信する	2,322	①みやこんじよ「遊・楽・発見！再発見！」再発見！ ～クロスタワードを解説せよ～ 平成25年8月18日～10月20日実施 ②みやこんじよ肉井ブランド2013 平成25年10月26日～27日実施	・リーフレット「みやこんじよ遊・楽・再発見！クロスタワードを解説せよ」：5,000部作成（市内10施設で配付） ・そのうち496部は返信（返信目標500部）あり ・新しい言葉「みやこんじよ肉井」と「ラリー参加施設の魅力」の発信 ・肉井販売数：延べ2,830食（売上げ：1,132千円）
	延岡市	食を活かしたまちづくり事業	観光資源である「チキン南蛮」をはじめとする食を活かし、全国に延岡を広くPRする	3,000	・「B-1グランプリin豊川」への参加 延岡発祥チキン南蛮1,000食のチキン南蛮を提供 ・2日間合計約11,000食のチキン南蛮の味を伝えることができ ・延岡発祥のチキン南蛮の味を伝えることができ ・延岡の風景等を掲載したクリアファイルを約1万枚配布 (視覚的に延岡の紹介)	・約58万1千人が訪れた「B-1グランプリin豊川」の会場 のステーションや店舗前においてPR ・大会参加に併せてマスメディアの露出により、市内外に 対し「延岡にチキン南蛮のまち」であることを広くPR ・物産品や観光資源を来場者に対しPRし、カツオ船見学 や一本釣りを体験、魚すくい取り等を行い、子どもから高 齢者まで水産業を身近なものとしてPR
	日南市	「カツオアオラーラム」を契機とした地域産業活性化事業	「カツオアオラーラム」、「日南カツオ・マグロ祭り」、「カツオ・マグロレジンコンテスト」の開催し、「日南市」の魅力のPRと地域産業の活性化を図る	7,500	・「カツオアオラーラム」開催(12/7) 講演・パネルディスカッション 参加者：約600人 ・「日南カツオ・マグロ祭り」開催(12/7-8) 水産加工品、農産物、駄肥形製品及びその他地元特産品 や観光PR 参加者：約13,000人	・「カツオアオラーラム」と「日南カツオ・マグロ祭り」の同時開催により、『カツオ＝日南市』を全国へ発信 ・各種特産品販売や市民活動団体の広報PR ・市民の参加等による実行委員以外の市民の気運醸成
	小林市	吉都線100周年記念事業	イベント開催や組織の自立、リーダー育成、鉄道需要の喚起等により地域経済の活性化を図るとともに、同事業を定着させ長期的な観光誘客を図る。	2,477	【主な取組】 ○海幸山幸おもてなし(4/12・4/23) 来場者数：各50人 ○環状周遊列車おもてなし(5/11・7/27・10/14) 来場者数：各100人 ○土曜夜市(7/20) 来場者数：1,000人 ○名水夏まつり(8/3) 来場者数：15,000人 ○吉都線100周年祭(9/29) 来場者数：1,000人 ○はやし停車場(12/1) 来場者数：500人 ○緑ヶ丘公園S.L.清掃・塗装活動(12/15・12/22) 参加者数：各20人	①おもてなしの心(気運醸成) ・各種特産品販売や市民活動団体の広報PR ・市民の参加等による実行委員以外の市民の気運醸成 ②市民協働と人材育成 まちづくり担い手の人材の発掘や育成が図られた
	えびの市	口蹄疫からの早期復興活性化事業	100周年記念事業やえびの市のガイド活性化事業などを通じ、PR吉都線の歴史的价值を再認識するとともに、継続的な鉄道利用や観光ハートの再構築により活力ある地域づくりに取り組む。	1,923	1. 吉都線利用促進事業 1) 各駅100周年記念イベント開催 2) 吉都線利用特典 2. 吉都線PR事業 1) 各駅装飾事業 3. えびの市のガイド活性化事業 1) ツアーガイド 2) 講座・研修の開催	○駅を風物詩として、吉都線利用促進と駅の活性化に寄与 ○駅を中心とした地元住民の機運の醸成に寄与 1. 吉都線利用促進事業 1) 各駅100周年記念イベント(8/4、8/17、10/13) 来場者数：延べ約1,100人 2) 吉都線利用特典等 2. 吉都線PR事業(各駅イルミネーション12/1～1/19) 1) 各駅装飾事業 3. えびの市のガイド活性化事業 1) ツアーガイド(6/9、7/28、11/4、12/15) ・ 鹿野北部バスツアー ・ 白鳥郷土の森ウォークラリー など 2) 講座・研修の開催 ①講座(4/6、6/1、7/6) ②研修(5/17、12/2)
三股町	ものづくりフェア補助事業	陶器、染物、木工・ガラスなどの工業展示販売会を開催し、情報発信や販路拡大につなげ、地域産業基盤の再生を図る。なお、確かな集客効果を図るため、有名工業家を招くことにも上にお、地元工業家との意見交換を行うことと、さらなる相乗効果を図る。	3,000	みまたもりのカタチ～ ～つくりびとのカタチ～ 開催日：平成25年6月14日(金)～16日(日) 参加者：10,000人	・町内の工業家を町内外に周知・PR ・今後の商談などの展開に大きく寄与 ・工業家のネットワーク構築 ・食に関する今後の商品開発に活かせる取組となった ・売上金(予想)額 : 500万円 工業品販売ブース : 40万円 カフェコーナー : 40万円 地場産品食のブース : 60万円	

平成25年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

(単位：千円)

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(3) 活力ある地域づくりの支援	高唐町	高原駅開業100周年記念事業	JR高原駅開業100周年記念事業の運行式・記念式典、開業記念イベント事業に対する助成。	7,179	○記念式典の開催(5/11) ○記念イベント、JRウオーカーキョウ等の開催(5/19) ○来場者数 約300名 ・記念式典 ・記念イベント 約7,000名	・高原駅での植栽や美化清掃等、協働できる関係が構築 ・記念式典やイベント等により、町のアピールに大きく貢献
	綾町	ユネスコ エコバーク推進事業	ユネスコ エコバークの推進 ①エコツアーの展開 ②自然生態系農業の推進	3,975	①エコツアーの展開 ・宝探し調査事業 ・自然を守る活動を明らかにして、自然保護や生物多様性の保全、持続可能な地域づくりに活用 ・フットパスコース ・森林や田園地帯など、昔から残る風景の中で感じながら歩く「フットパスコース」としての検討 (綾町内に訪れた方への滞在時間を延ばす取組) ②自然生態系農業の推進 ・自然生態系農業の更なる展開を図るため、有機農業を推進	・「宝探し調査」で調査した空道地区で、住民へのアンケートやワークショップなどにより、地域住民の地域の価値の再発見に繋がった ・「フットパスコース」で検討した地域周辺で、地区単位でなく広域で連携した取組の展開が図られた ・自然生態系農業を推進するための取組を実施中
	高千穂町	恋い来い応援事業	町内の若者が「高千穂青年交流研究会」を設置し、全国の若者と交流促進を図り、PR活動のための研究会、勉強会、ワークショップを開催する さらには、魅力を発信し、ひいては、全国の若者との農村体験型交流促進に繋げる。	3,619	1. 愛のミラクル大作戦in高千穂 高千穂町の自然景観、伝統芸能、郷土料理を活用した「愛のミラクル大作戦in高千穂」を実施(2/1-2) 2. 高千穂青年交流研究会(12月~3月) ・講師を招聘 ・効果測定	○愛のミラクル大作戦in高千穂 地元参加者：21名(20歳から57歳) 町外参加者：11名(うち県外3名) ○高千穂神社、天岩戸神社などの神話由来や高千穂駅、高千穂夜神楽を含め当時の文化を広くアピール ○町民一体となった交流促進が図られた
	日之影町	緑のふるさと協力隊20周年記念交流事業	「緑のふるさと協力隊」受け入れ20周年を記念し、歴代隊長と町民との交流イベント、地域づくり団体との意見交換会を開催する。	1,357	「緑のふるさと協力隊」交流イベント開催(7/13~14) 参加者：約170名(歴代隊長、町民)	・全国各地で活躍している歴代隊長とのネットワーキング構築 ・隊員を通じて各地へ情報発信が可能となった
	五ヶ瀬町	種田山頭火顕彰記念事業	昨年度開催した「山頭火フォーラムアムブレイベント」で、山頭火と五ヶ瀬町のゆかりをPRすることができた。 今年度は「全国山頭火フォーラム」を五ヶ瀬町で開催し、非牟大会の武彰、山頭火の句碑の建設、除幕式を行い、山頭火も歩いたコース等でウオークを行い、町内外の方々の交流イベント等を開催する。	3,926	○「第22回全国山頭火フォーラムin五ヶ瀬」の開催 開催日：10/19~20 内容：山頭火句碑除幕式、五ヶ瀬中等教育学校本館部・警道部、俳句大会表彰、交流懇談会、吟行ウォーク(日向往還コース)の開催等 参加者：フォーラム265名 吟行ウォーク16名	○町内への宿泊者数80名。町内飲食店(約50万円)宿泊施設(約45万円)への経済効果 ○会場外にて特産品販売を先行し、加工グループへの経済効果あり(3グループで約6万円) ○山頭火、自由俳句について学ぶ機会の設置 ○山頭火句碑の建立により新たな観光名所として観光客誘致へとつながっていく基盤づくりができた
計				40,278		
合計(5 地域振興分野)				108,238		

平成25年度宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業 実施状況

事業(メニュー)区分 (分野)	助成事業者	事業名	事業概要	助成額	実施状況	成果等
(1) 連携・協働復興支援	NPO法人 みんなのくらし パートナーナレッジ	「ふれあいの居場所」と「地域活性化」による「こころと身体のケア」と「地域活性化」事業	都農町に、地域住民の集いの場「ふれあいの居場所」を開発、地域住民や関係機関などで連携した「こころと身体のケア」や「共創」の再構築、絆の強まりなどによる地域活性化	2,000	(1)年間通して継続的に行った取り組み ・居食会(毎週火曜・金曜日開催) ・まちの保健室(月1回開催) ・居場所でのしゃべらナイト(月1回開催) ・クッキングKids(不定期開催) (2)その他の主な取り組み ・田野町「ふれあいの居場所」(ゆめ*はな)ベビバグ製作講習会へ参加(5/9) ・新富町社協(梅の木ライブ)視察(6/27) ・中町地区防犯訓練の参加(10/6) ・ふれあい・まちカフェエイン人吉球磨 参加(10/19) ・アクリルたわし 町内4小学校 贈呈 ・新富町更生保護女性会 視察(11/25) ・気仙沼市から2名視察(11/30) ・ももちちちククリスマス 町立図書館共催(12/8) ・餅つき、絵本の読み聞かせ ・居場所2周年記念(12/10) ・津軽三味線演奏会&コーヒーマーシェービス	・利用者数 1日平均約10名 今年度は、中山間盛り上げ隊や居場所の活動に興味を持 たれた方など、町外の方の来所が増えた ・居食会 平均参加者数：火曜日は20名前後、金曜日は10名前後 開設から8年が経過し、居場所の活動も認知され、地域 住民自ら活動や運営に関わろうと協力する姿が見られ るようになった ・5月など、主にひとりで暮らしの高齢者を対象にした居食 会も行うなど、新たな利用者も増えた ・小学2年の生活科「またたんけん」の授業で、居場所の 紹介をされた学校もあった ・学習発表会への招待など学校とのつながりも出てきた
			計	1団体 1件	2,000	
6 その他	「水平線の花 火と音楽4」 実行委員会	水平線の花火と音楽4	口蹄疫・鳥インフルエンザ、新城岳被害から立ち上がる宮崎の元気さを県内外にアピールするイベントの開催	2,000	イベント：平成25年10月20日開催	・口蹄疫の被害を風化させないことや復興への想いの発信 ・観客数：約12,000人 ・花火：12,000発 ・J.A.S.ステアキーフェスタ/宮崎県産品の販売ブース
		全国モーター 母ちゃんの集 いinnみやざ き実行委員会	全国モーター母ちゃんの集いinnみやざき	口蹄疫からの復興と支援に対する感謝の気持ちをアピールするために全国の牛を飼育する女性農業者が集う全国大会の開催	1,213	第7回全国モーター母ちゃん集いinnみやざき ○平成25年7月16日～17日開催 ○内容 ・基調講演 ・1分間スピーチ ・現地視察等
(2) 復興メモリアル支援	みやざき有機農業研究会	「第21回火の国九州山口有機農業祭典innみやざき」及び「オーガニックフェスタ」	食と農・健康・教育・環境そして命の大切さへの関心を高めることとともに、口蹄疫からの再生をアピールや防疫の徹底を周知するために、九州・山口県の有機農業者等が集う九州大会の開催	1,000	「第21回火の国九州山口有機農業祭典innみやざき」及び「オーガニックフェスタ」の開催 ○開催日：平成26年1月18日～19日 ○参加者：1/18：約750名(うち県外約300名) 1/19：約15,000名(うち県外約300名)	・食と農、健康や命をテーマとして、有機農業者の立場から県内外の農業者や消費者にアピール ・地産地消、食育の発信 ・口蹄疫作文コンクールへ命をいただく～最優秀賞作朗読 ・口蹄疫パネル展示、DVD放映 ・夜なべ歌義(種の語り、口蹄疫からの復興等)
		計	3団体 3件	4,213		
(3) 財団直接実施事業	口蹄疫復興財団	口蹄疫等防疫対策等情報発信事業	口蹄疫メモリアルセンターの展示内容の拡充等	3,007	平成25年8月27日(火)リニューアールオープン ○記念式典 ○5日作文コンクール入賞者等による誓いの言葉 ○NHKテレビドラマ「命のあしあと」展示コーナー設置並びに放映 等	・口蹄疫メモリアルセンターは、小中高校の遠足や校外学習にも活用されるなど、口蹄疫の経緯をしっかりと記憶にとどめ語り継いでいく拠点施設として有効に活用されている ・今後は、風化させない取組の強化や、県内外への発信等、当センターを拠点として展開していく
		計	1団体 1件	3,007		
合計(6 その他)				9,220		
総計				626,616		